

授 業 目 名	疾患別理学療法 I (中枢②)	授 業 形 態	講 義
		配 当 学 期	2年(後期)
担 当 教 員 名	水谷 貴佐	単 位 数	1単位
		時 間 数	30時間
授業概要 学習目標	<p>〔授業概要〕</p> <p>中枢神経障害によっておこる症状・病態は多彩であり、根拠ある理学療法を適切かつ柔軟に行っていくためには、それぞれの症状、病態に関する知見を理解することが大切である。また、臨床における根拠の構築のためには、基礎的な知識と臨床でおこる現象を統合し、それを解釈していくことが必要である。</p> <p>〔学習目標〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 中枢神経障害によっておこる症状、病態、動作の特徴について学ぶ。 2. 急性期、回復期、維持期のリハビリテーションの流れについて学ぶ。 3. 脳血管障害患者に対する基本的な理学療法について学ぶ。 4. 高次脳機能障害と理学療法について学ぶ。 		
授 業 回 数	授 業 内 容		
第 1 回	画像のみかた		
第 2 回	脳血管障害の評価と理学療法【画像診断①】		
第 3 回	脳血管障害の評価と理学療法【画像診断②】		
第 4 回	脳血管障害の評価と理学療法①		
第 5 回	脳血管障害の評価と理学療法②		
第 6 回	脳血管障害の評価と理学療法③		
第 7 回	脳血管障害の評価と理学療法④		
第 8 回	脳血管障害患者の姿勢・動作観察 (背臥位～座位姿勢)		
第 9 回	脳血管障害患者の姿勢・動作観察 (立ち上がり～立位姿勢～歩行動作)		
第 10 回	高次脳機能障害の評価と理学療法 (全般性注意障害、方向性注意障害)		
第 11 回	高次脳機能障害の評価と理学療法 (pusher症候群、失行等)		
第 12 回	脳血管障害の症例検討①		
第 13 回	脳血管障害の症例検討②		
第 14 回	脳血管障害の症例検討③		
第 15 回	脳血管障害の症例検討④		
評 価 方 法	期末試験で評価します。		
教 科 書 参 考 図 書	<p>〔教科書〕 標準理学療法学 神経理学療法学 第2版 (医学書院) 15レクチャーシリーズ 神経障害理学療法学 I (中山書店)</p> <p>〔参考図書〕 病気がみえる 脳・神経 (MEDIC MEDIA)</p>		
履 修 上 の 留 意 点	基礎的医学知識 (解剖学・運動学・生理学・神経内科学についての知識等) をしっかり復習しておいてください。		
メ ッ セ ー ジ	授業では、自発的に学んでいく、また疑問点を追求していく姿勢を大事にしてください。		